

教育相談部

部長：今澤 真子

副部長：大平 由美

(1) 今年度の重点目標

①生徒実態の把握・対応

クラス担任からの学級連絡票、生徒指導部実施の学校生活アンケート、保健室利用生徒などから悩みのある生徒を把握し、適切な対応を図る。

②関係職員、保護者、専門機関との連携

問題を抱える生徒については、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーにも加わっていただき、個々のケース会を実施し、関係職員全員の共通理解を図る。また、スクールカウンセラーや専門機関と連携を図り、適切な支援を行う。保護者とは密に連絡を取り合う。

③研修活動の充実

生徒に対するメンタル研修及び、職員への現職教育を実施する。

(2) 主な取り組みの計画

①生徒の実態を把握する

- ア グループカウンセリングを実施する。
- イ スクールカウンセラーを指導者とするHRを実施する。
- ウ 心理検査を実施する。
- エ 保健室利用生徒から、心に問題を抱える生徒を把握する。
- オ 学級連絡票を活用する。

②連携をとる

- ア スクールカウンセラーと関係職員との連携を密にする。
- イ 特別支援教育委員会との協働を図る。
- ウ スクールカウンセラーや専門機関と連携を図り、適切な支援を行う。

③研修会を設ける

- ア 生徒に対するメンタル研修を実施する。
- イ 現職教育を実施する。

(3) 成 果

①ア 4月 グループカウンセリング（1年生対象）を実施した。

指導者：教育相談部員

[成果]入学後すぐの様子を知り、人間関係を築けるように援助できた。

イ 5月～9月HR時 「教育相談に関するHR」（1年各クラス対象）を実施した。

指導者：スクールカウンセラー

[成果]専門家の目を通し、教室内の生徒の実態を把握するとともに、1年生がスクールカウンセラーの存在を知り、相談しやすくするきっかけとなった。

